

がんは怖い？

# 子宮頸がんには、 予防する方法があります。

10代からHPVワクチン接種と、20歳をすぎたら加えて検診が大切です。

子宮頸がんの95%以上はHPV(ヒトパピローマウイルス)の感染が原因です。

日本では

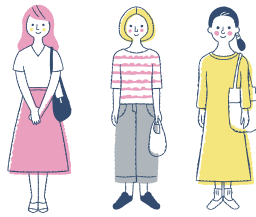


〔罹患者数:毎年〕  
約10,000人  
〔死亡者数:年間〕  
約3,000人

20~30代でも罹患

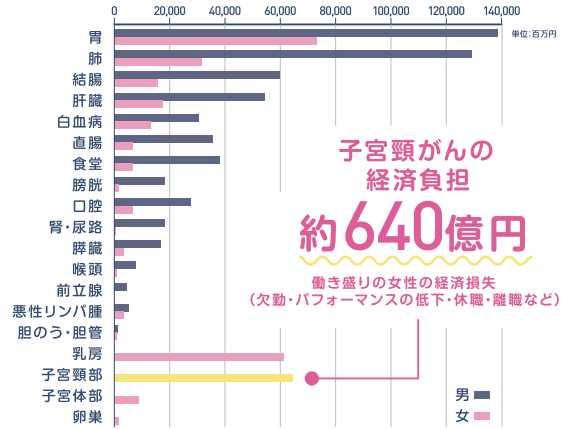
働き盛り

子育て中



早期には自覚症状がない

〔部位別にみた予防可能ながんの経済負担(男女別)〕



国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録/厚生労働省人口動態統計) 全国がん罹患データ(2016年~2019年)/全国がん死亡データ(1958年~2022年)

国立がん研究センター:日本人における予防可能ながんによる経済的負担は1兆円超え(推計)適切ながん対策により、経済的負担の軽減が期待される

## 定期接種

小学校6年生~  
高校1年生~  
相当の女子  
11歳~16歳

14歳までは2回接種

## キャッチアップ接種

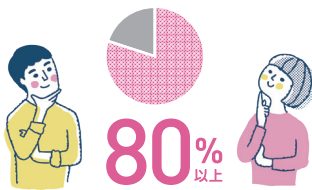
1997年4月2日生まれ~  
2008年4月1日生まれの女性  
(2024年度:16歳~27歳)

15歳以上は3回接種

接種が完了するまで6ヶ月かかるため、早めの接種をご検討ください。

キャッチアップ接種を  
公費で  
接種できるのは

2025年  
3月31日まで



HPV感染の原因は主に性交渉で  
8割以上の男女が  
一生のうちに一度は感染しています。



## HPV感染対策

- 1次予防 ワクチン接種で感染を防ぐ
- 2次予防 検診で前がん病変を発見



男性に多い中咽頭がんや肛門がんも  
HPVの感染が原因の一つです。

国立研究開発法人国立がん研究センター:子宮頸がんその他のヒトパピローマウイルス(HPV)関連がんの予防ファクトシート2023より